学校番号	３１８

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music（教育芸術社）						
副教材等	高校生のための音楽研究ノート（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「鑑賞」の３つの分野を年間通して学習します。
・音楽Ⅰ、Ⅱで取得した技術をさらに発展させ、合唱や合奏の楽しみを味わうことを目指します。又、将来にわたって音楽を楽しむための読譜力、表現力を身につけ、個性豊かな表現や積極的に音楽を楽しむ姿勢を養います。
・学習の到達度は、実技テストのほか、ノートやプリントの提出、授業の取り組みへの積極性で評価します。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

合唱、器楽とも、表現内容に応じて、発声や奏法を工夫し、様々な形態において、曲の構成および曲想をいかした創造的な表現を目指す。音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとする様子が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ハーモニーを味わって豊かな声で歌いあげよう	合唱 「時代」	a:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、適切な表現につなげるために必要な歌唱の技能（発声、言葉の扱い、呼吸法、身体の使い方）を身につけている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:曲想と文化的、歴史的背景との関わりに関心を持ち、仲間と協働して、演奏活動に主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察
	アンサンブルを楽しもう	器楽 ミュージックベル	a:曲想と音楽の構造を文化的、歴史的背景と関連させて感じ取り、さまざまな表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 c:ミュージックベルの基礎的、基本的な奏法に関心を持ち、演奏活動に主体的、協働的に取り組もうとしている。	・発表 ・観察	・発表 ・振り返りシート ・観察	・発表 ・振り返りシート ・観察
	読譜の基礎	音楽理論 ・コードネーム （セブンスコード）	a:音楽を形作っている要素を知覚し、読譜のために知識や音楽理論の基礎知識を身につけている。 c:音楽や音楽文化に関心を持ち、楽典の学習に主体気に取り組もうとしている。	・観察 ・筆記テスト		・観察
2学期	ギター合奏	ギター弾き歌い 「オワリはじまり」	a:ギターの特徴を理解し、基礎的な演奏技能を身につけ、創造的に表している。 b:旋律を和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 c:クラシックギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、合奏で演奏することに主体的、協働的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察

	アンサンブルの楽しみ	アンサンブル 自由課題	a: 楽曲や楽器の特徴を理解し、表現したいことを伝えるための歌唱や器楽の技能を身に付けている。 b:旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた表現を工夫し、どのように表現するかについて意図を持っている。 c: アンサンブルに関心を持ち、コミュニケーションを取りながら、演奏することに主体的に取り組もうとしている。	・発表会 ・記録表	・発表会 ・記録表	・発表会 ・相互評価 ・振り返りレポート ・記録表
3学期	ハーモニーや言葉の響きを感じ取って歌おう	合唱 「ほたるこい」	a:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、適切な表現につなげるために必要な歌唱の技能（発声、言葉の扱い、呼吸法、身体の使い方）を身につけている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:曲想と文化的、歴史的背景との関わりに関心を持ち、仲間と協働して、演奏活動に主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度